

福津ふしぎ発見



水害で流された西郷川の鉄橋跡

戦時中に上西郷に弾薬庫が作られました。福間駅とそれを結ぶ鉄道が敷設され、深夜に貨物列車が走っていました。現在の水光会総合病院の前には、西郷川を渡る鉄橋がありました。



▲川底に残る橋の一部が水害のすさまじさを物語ります

戦時中の昭和18年以降、上西郷に40基以上の弾薬庫が作られました。昭和19年には弾薬庫と福間駅を結ぶ線路が作られ、深夜に軍需品を搬入出する貨物列車が走りました。

西郷川を渡る線路は、現在の水光会総合病院前の鉄橋を通りました。そして、昭和20年に終戦となり、線路は廃止。翌21年には撤去されましたが橋だけは残っていました。

九州北部豪雨は記憶に新しいところですが、市内でも昭和28年6月上旬に3日間で360mm、下旬に4日間で500mmを越える雨が降りました。後者では川が氾濫し、旭橋など5つの木造橋が流されました。この鉄橋はコンクリート製でしたが流木などとともに流されました。

今は、病院の対岸に残された橋脚とともに、橋の一部が川底に横たわっています。



発行



福津市

F811-3293 福岡県福津市中央1-1-1

☎42・1111 (代表)

編集

広報秘書課

印刷

久野印刷株式会社